第94号
昭和39年(1964)
10月10日発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口
(9月末日現在)

世帯数	7.558
男	17.893人
女	19.283人
計	37.176人

今月の市税
▷市県民税　第3期分
▷軽自動車税　随時分
▷国民健康保険税
10月分
納期　10月31日

選挙法改正
補名簿の登録は常時受付します

選挙法の改正により、十月一日から補充選挙人名簿の登録申出をいつでも受付けすることになりました。

これは今まで、毎年九月十五日現在で作り替える基本選挙人名簿に登録されない人で、臨時に作る補充選挙人名簿の登録申請を短い期間中にしなければ事実上選挙権があっても選挙人名簿に登録する方法がなく、したがって投票できなかったのですが、名簿登録の機会をひろげるためにこれまでのように選挙ごとに行う登録申請とは別に常時選挙人の申し出を受付することに改められたものです。

次のような人はいつでも名簿登録の申し出をしてください。

①新たに満二十年に達した人

②新に市外から栃尾市内に移って来た人。

③九月十五日現在で作り替える基本選挙人名簿に登録されなかった人。

なお、この申し出は、市役所窓口で適宜の事務時間中取り扱っております。

基本名簿にのっているか確めましょう!!

市選挙管理委員会では、九月十五日現在による基本選挙人名簿を作っていましたが、近くできあがりますので、

第六回 市議会定例会

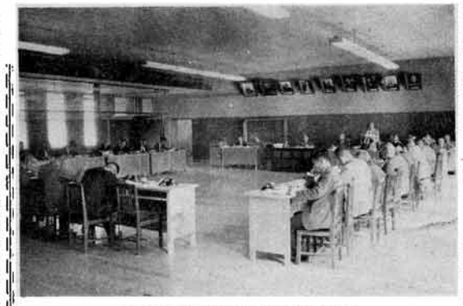
教育委員の選任など補正予算も上程

▽……第六回市議会定例会が、さる九月二十八日午前十……△
▽……一時織物組合に招集され、会期を十月十三日までの……△
▽……十六日間ときめ審議にはいりました。……△

本会議一日目には、一般質問と教育委員の選任について審議されました。

一般質問は、あらかじめ申し出てあった十人の議員からとそれに関連して多数の議員から活発な質問がなされました。そのあと教育委員選任に関する同意を求めることについて」が上程され、原案どおり同意可決され散会しました。

本会議二日目は、さる二日に開らき、昭和三十九年度一般会計補正予算など十三議案が上程され、提案説明のあと質問がなされ、各常任委員会にそれぞれ付託され散会しました。なお、本会議三日目は十二日に予定されており、それまでの間に各常任委員会が開かれることになっています。


〔写真は織物組合での市議会〕

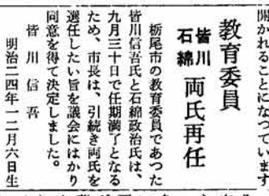
教育委員
皆川 石綿 両氏再任

栃尾市の教育委員であった皆川信吾氏と石綿政治氏は、九月三十日で任期満了となるため、市長は、引続き両氏を選任したい旨を議会にはかり同意を得て決定しました。

皆川信吾
明治二四年一二月六日生
大字栃尾町丙二〇七〇

石綿政治

ごみ処理にご協力を
多くなったごみの量


明治二四年一月生
大字栃尾町中一五八

熱心に傍聴
南中学校の三年生

本会議第一日目の午後から南中学校の三年生全員が議会を熱心に傍聴されました。

今までの市議会では、あまり傍聴人がなく議会への関心がうすいようでしたが、これから実社会へ出ようとする生徒から自分たちの市の議会のようすを認識していただいたことは意義あることでありましょう。一般のかたの傍聴もおすすめしたいものです。

最近各家庭から出されるごみの量が、非常に多くなり現在の焼却炉で処理するためにはむずかしい状態にあります。

ことに果物の皮など比較的多く出る時期は、ごみがもえにくくなり焼却炉の能力も低下し、ますます処理に困るなどが実情です。これ等のものは、菜などの漬けこみ漬物になりますと野菜やくさりやすく水分が多くなり、せっかくの多いものもでが湿気を吸いもえやすくなります。

そのうえ、野菜やくさり水分を無くするように各家庭で心がけていただきたいものですが、むかしと、ごみ処理の問題は、早急に解決しなければならない問題になりましたが、もっか検討中であります。

とりあえず各家庭では、次のことに注意されて、できるだけスムースに処理ができるよう協力を切望する次第です。

▽台所から出るごみはよく水分をきってからごみ箱に入れてください(ポリ容器の場合水分が非常に多く乾燥したごみまで燃えにくくなります)

▽せともの、ガラス、あきびん、あきかんは絶対にごみ箱に入れないで、必ず危険物容器に入れてください。

▽つけ込み野菜を農家から購入されたときは(とくに大根等)いらなくなった菜つぼ類はできるかぎり引き取ってもらうよう話してください。

事業主の皆さんへ
失業保険に加入を

常時五人以上の労働者を雇用している事業主は、労働者並びに事業主の意志にかかわらず、失業保険に加入することが義務づけられております。

昭和四十一年度からは全事業所が加入の対象となる見込で、今年は全国的に当然適用の事業所の加入促進を実施中です。この際五人以上雇用しておられる事業主のかたがたは直ちに加入の手続きをとられるようお知らせします。特に最近加入の義務を怠っている事業所で、解雇者が発生し、失業保険金を受給できない例がでて問題となるケースが増加しています。このようなことの防止のためにも早めに加入されるようおすすめします。

なお、五人未満の事業所でも任意加入ができますから事業所課業務係に相談してください。

(長岡公共職業安定所)

ねずみ駆除を実施
共同駆除で効果をあげよう

県では、住みよい郷土をつくる運動のひとつとしてねずみ駆除運動を実施することになりました。

ねずみの繁殖は、そくに「ねずみ算」などといわれるとく繁殖率が高く、ちょっと気をゆるしているとすぐなんて十倍にもふえてしまいます。そのためねずみ駆除は、常に心がけて駆除することがたいせつですが、各部落あるいは隣組などで日を決め同時に駆除することがもっとも効果のある方法です。

このような考え方から、ことしも十一月一日から十二月十日までを「ねずみ駆除運動期間」として県下いっせいに実施することになったのです。

栃尾市でも、この運動期間中に実施するよう計画中であります。近く部落、班を通じて駆除計画をお知らせしますので、そのときは全家庭が協力して駆除していただきたいものです。

県では、ことしも、ねずみ宝くじ、市町村ねずみ駆除コンクールを実施することになっています。

【写真は、地鎮祭】

教員住宅を建設
上ノ原忙鉄筋三階建

栃尾市教員住宅の地鎮祭がさる一日上ノ原市営住宅脇の現地で行なわれました。

この教員住宅は、市内上ノ原に建設されるもので、鉄筋三階建の住宅総事業費一、七五四万七千円で共栄土建株式会社が請負い来年三月末に完成の予定です。

この住宅は、十二世帯が入れるよう造られるもので、内容、外観ともりっぱなものができる予定です。

産業育成資金を貸出し
申込み期限 十五日正午まで

中小企業者に地方産業育成資金を貸し出し中です。

▼貸付金額＝三十万円まで
▼利子＝日歩二銭四厘
▼申込場所＝栃尾信用金庫
▼申し込み期限＝十月十五日正午まで
▼貸付期限＝昭和四十年三月二十五日

教育委員長に皆川氏・教育長に石綿氏
再選

教育委員会では、さる一日市役所で委員会議を開らき、委員の互選によって委員長に皆川信吾氏、教育長に石綿政治氏を選任しました。

これは、さる九月三十日委員の任期満了になった両氏を市長が市議会の承認を得て再任、委員会議を開らき委員の互選によって選任したものです。

委員長　皆川信吾
同　職務代行者　大崎市郎
教育長　石綿政治

刀剣の審査を実施

刀剣の審査会をきたる十一月十二日午前十時三十分から十二時三十分まで市役所会議室で行ないます。

なお、まだ登録していない刀をお持ちのかたは、当日現品といんかんを持参のうえお いでください。そのとき、鑑定も行ないます。

人事発令

(カッコ内は旧)

▽厚生課(保健衛生課)若杉賢一▽清掃センター長(産業課)藤田英雄

△総務課大橋賢一、△保健衛生課稲田征洋、△産業課酒井勇、△建設課五十嵐稔、△消防署増井三信、桜井平作、

依願退職
(厚生課)諏佐正吉、(総務課)千野紀夫

第94号 (昭和32年2月20日 第三種郵便物認可)　広報とちお　昭和39年10月10日発行(2)

共同募金にご協力を
市の目標額 七〇万円

ことしも「赤い羽根」共同募金が行なわれることになりました。期間は、十月から十二月末までとして実施されます。

栃尾市の割当目標額は、七十万円ときまり、そのうち十万円を法人篤志寄付にお願いし、残りの六十万円を一般募金として皆さんの善意による協力を願うことにした次第です。すでに各区長さんを通じてお願いしてありますので、目標額達成に特別のご協力をお願いします。

この共同募金により集った金は、いろいろの厚生施設の設備にも還元されるものであり、ことし当市に救急車が配置されましたが、これもおおむねこの募金によりまかなわれておりますので、この点にご理解をいただきたいものです。

地区名	昨年度売渡実績	本年度売渡申込数量	引差増加数
尾谷	7,747	7,102	一 645
谷谷	20,555	22,045	1,490
塩谷	14,304	15,139	835
塩頃	19,029	18,770	259
東俣	5,006	5,081	75
野金	14,885	14,538	347
藏	4,159	3,971	一 188
計	4,398	4,448	50
	4,805	4,837	32
	94,888	95,931	1,043

ありがとうございました
社会福祉に寄付

▽稲田育彦(大町)さんから祖母死亡忌明に当り香典返しとして日赤事業資金として一万円、保育施設資金として十万円、また、福祉事業に夜具地百反を寄付

▽匿名の一市民より社会福祉施設に四千円を寄付

学校寄付

▽佐藤栄祐(名古屋市北区福徳町六丁目三七番地)さんから塩川小学校へ十万円を寄付

学校では、さっそく、ベルタイマー(二万円)、ジャングルジム(五万円)、ブランコ(三万円)を購入しました。

▽川上英三(大字小向)さんから東谷小学校(ナショナルホームラジオ三台(一万七、七〇〇円相当)を寄付

標語・マンガを募集
ふるさと応募を

公明選挙推進のための標語マンガを募集します。ふるさとで応募してください。

①内容、標語、マンガとも公明選挙を表現するもの。

②応募資格、だれでも応募できます。ただし、未発表の自作のものに限ります。

③締切日と提出先、十月三十一日までに新潟県公明選挙推進協議会(新潟市学校町一、県庁分館、新潟県選挙管理委員会内)にお送りください。

④色と規格、④標語については、官製ハガキ一枚に一標語とする。⑤マンガについては一八センチ×二六センチの画用紙に墨汁又は黒インキを使用し、一コマものか四コマ以内のもの。

⑥その他、作品の左下に住所氏名(フリガナ付)職業(在学中のものは学校名、学年)年令を必ず記入すること。なお、応募作品は一切お返ししません。また、入賞作品は自由に利用し、著作権は新潟県公明選挙推進協議会が所有します。

農業センサス実施
出稼者は事前に記録を

来年の二月一日現在で中間農業センサスが実施されます。

この農業センサスは、規則により十年目毎に国際条約に基づいて行われるもので世界農業センサスの中間年次にわが国独自の立場で実施するよう定められております。

今回の中間農業センサスは前回の一九六〇年世界農林業センサス実施当時よりも大きな変動期を迎えつつある日本の農業の姿をはあくしようとするきわめて重要な調査であります。

特に、農村部では、これから冬期間の出稼者が多く出ることが考えられ調査がやりにくくなることが予想されます。

そのため調査内容の主なものを次にあげましたから、あらかじめお含みおき願い主要なものについては、紙に書いて家に居られるかたに渡しておくなどの方法をとっていただき、調査ができるだけスムースにできるようお願いいたします。

①家族のうち十六才以上の者の一年間の農業従事日数

②経営土地面積の内訳、田(む)の総売上げ金額。

ついては、田の面積と一年間に全く作付しなかった田の面積、畑の面積、桑園、その他の樹園地の面積、畑の面積、畑のうち一年間に全く作付けしなかった畑の面積、桑園の面積、桑園地の面積、その他の樹園地の面積、草地の面積、永年牧草地、採草・放牧地の面積、また、経済林地のうち他家から借りている田、畑、樹園地の面積

③一年間の収穫面積、水稲、麦類、工業作物類、そばなど)野菜類(トマト・きゅうり・なす・だいこん・かんらん・だいこん等)などの個々の面積。

④家畜の飼育頭数と肉用に販売した頭羽数、養蚕の蚕繭掃立卵量。

⑤農用機械の保有状況

⑥天然林、人工林、一年間の新植面積別保有山林面積、自家の林業に振り入れた労力、一年間の林産物の総売上げ金額

⑦一年間に自家の農業届入れたり来ていらっしゃった者の数

⑧農産物の(出荷、販売)の総売上げ金額。

⑨農業用の建物、機械、農具、家畜、田にすき込まれた肥料、農薬、種子、種苗、肥料、農薬、種子、種苗、肥料、農薬、種子、種苗、